

# 「ふじさんっこ」応援宣言

富士山に抱かれた“ふじのくに”に生まれた子どもたちは、いつの時代においても、唯一無二、オンリーワン（不二）の存在であり、幸福と慈しみの象徴（福慈）です。

この大切な子どもたちである“ふじさんっこ”を、物心ともに豊かな富士の民として育て、子どもの笑顔があふれる社会を実現することが、私たちの願いです。

また、生まれたばかりの子どもは、一人では生きていけない弱い存在です。一番弱い存在である子どもを、富士の民として育てていくことは、人間として最も尊い「仕事」であり、大人の責任として果たしていかなければなりません。

私たちは、ここに「ふじさんっこ応援隊」を結成し、子どもと子育て家庭への理解を一層深めるとともに、あらゆる分野における人々が各々の役割を果たしながら、手を携えて「ふじさんっこ」を応援していくことを宣言します。

1. 子育て家庭が社会の宝を育むという、何よりも重要な役割を担っていることに感謝し、県民一人ひとりが子育てを自らのこととして受け止め、社会全体で「ふじさんっこ」を応援していきます。
2. 仕事と子育ての両立に伴う負担感を減らすよう、子育てにやさしい職場環境づくりに取り組みます。
3. 「ふじさんっこ応援隊」が相互に連携・協働し、「ふじさんっこ」を応援する活動のさらなる促進を図ります。

平成 25 年 8 月 27 日



“ふじのくに”子ども・子育て応援県民会議